

令和5年度

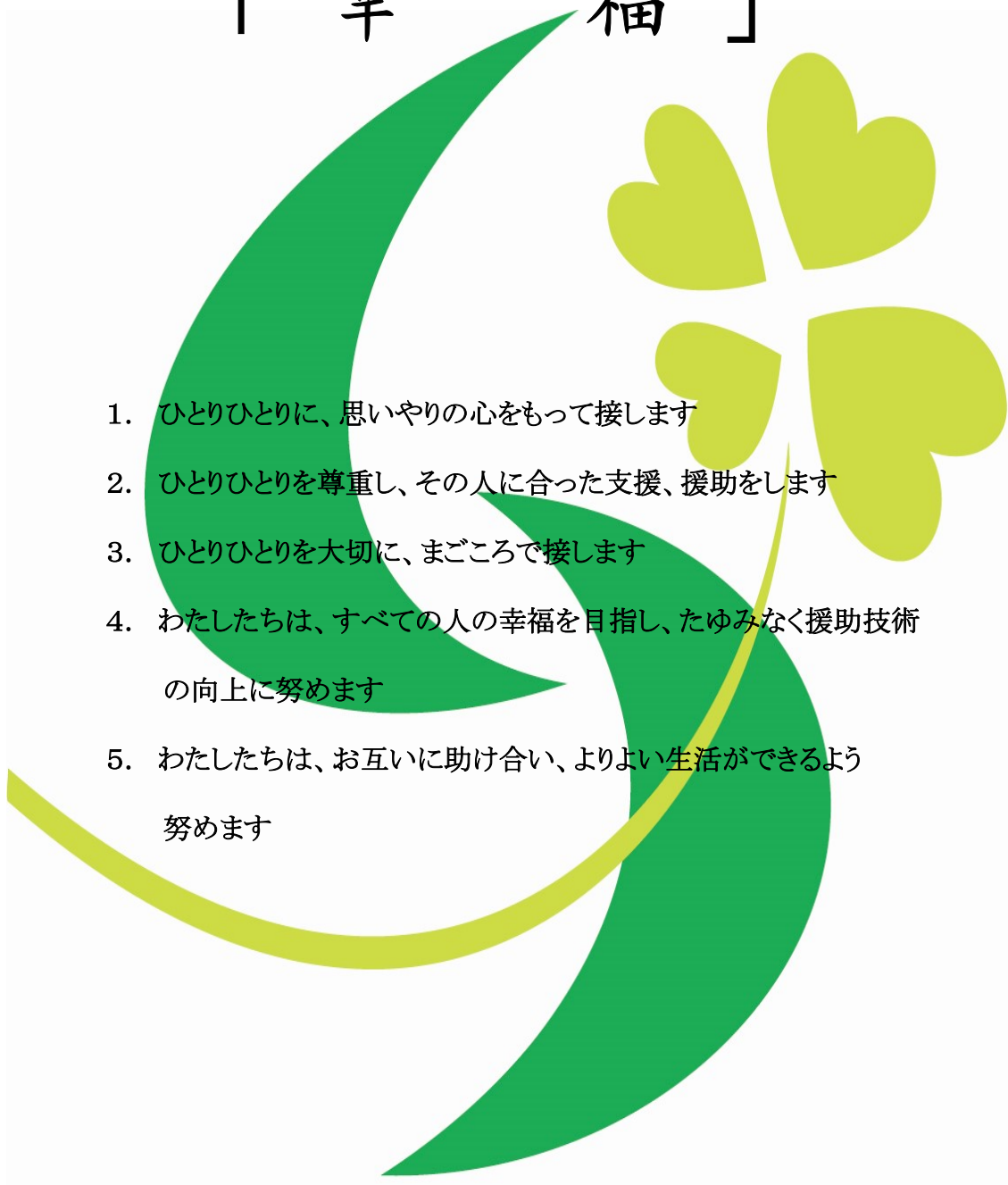
事業概要

社会福祉法人 昭徳会

小 原 学 園

社会福祉法人 昭徳会 基本理念

「^{しあ}幸^{わせ}福」

1. ひとりひとりに、思いやりの心をもって接します
 2. ひとりひとりを尊重し、その人に合った支援、援助をします
 3. ひとりひとりを大切に、まごころで接します
 4. わたしたちは、すべての人の幸福を目指し、たゆみなく援助技術の向上に努めます
 5. わたしたちは、お互いに助け合い、よりよい生活ができるよう努めます
- 

《 職員 行動 指 針 》

(対人援助)

第 1 条 いつも笑顔で接します

笑顔は、「すべての人」「すべての時」「すべての場面」において、相手を豊かで快適な気持ちにさせることができます。私たちは、笑顔こそ最良の行動と考え、いつも最高の笑顔を社会に提供し、未来を明るく照らす存在になることを目指します。

(思いやり 素直さ)

第 2 条 謙虚な姿勢で接します

人の話に耳を傾け、分からない事は聞き、自分に非がある時は「すみません」「ごめんなさい」が言えること。すべてに共通する気持ちは素直さです。素直な気持ちは、誠実な人格形成につながり、良好な人間関係づくりに大切です。

(共 感)

第 3 条 同じ目線で向き合います

関わる全ての方に対し誠実な姿勢で「向き合い」、「共に喜び」「共に悲しみ」「共に考え」、またその全てを「認めること」や「受け入れること」が相手への尊重・共感に繋がります。

(仕事への姿勢)

第 4 条 いつも前向きに取り組めます

不平不満を口にする、3つの“無い”(変わらない・創られない・生み出さない)が増えるだけです。嫌なことや辛いこととも向き合ってみて、ありのままを受け止めることができたその先に、成長があるはず。未来の私たちに悔いを残さないよう、前を向いて歩きます。

(自己研鑽)

第 5 条 学ぶ姿勢を持ち続けます

「学ぶ」ということは、技術・知識だけではなく、言葉遣い、気配り等、人間性を高めることも対象になっています。ミスの無い確実な仕事をするためにも、常に学んで自己を高めていくことが大切です。

(地域貢献)

第 6 条 地域との繋がりを大切にします

地域に目を向け、地域からの役割を理解し、地域のために尽くします。

(健康管理)

第 7 条 心と身体を大切にします

より良いサービスを提供するためには、心身の健康を保つことも大切な仕事です。

(問題解決)

第 8 条 小さな気づきを大切にします

目の前の小さな問題に気づかず放置すれば、後で大きな問題になります。普段の仕事の中であたりまえと思わず、どんな小さなことでも自ら気づくことが、問題解決の最善策です。

(連携 チームワーク)

第 9 条 チーム力を高めます

目的を共有し、相互に支え合い、円滑なコミュニケーションを図ることが大切です。

(感 謝)

第 10 条 感謝の気持ちで接します

感謝には相手を労い、敬う言葉がたくさん含まれています。感謝を伝え合うことでたくさんの変化ももたらしてくれます。どのような状況であっても、まずは「ありがとう」という気持ちで向き合います。

目 次

1. 施設の概要	1
(1) 設置目的	1
(2) 名称及び所在地	1
(3) 敷地及び建物	1
(4) 設置及び運営	1
(5) 入所定員	1
(6) 沿 革	1
(7) 建物平面図	2
(8) 職種別職員数	2
2. 援助の概要	3
(1) 概 況	3
(2) 援助目標	3
① 4つの援助目標	3
② 発達段階別援助	4
(3) 重点目標	4
(4) 生活目標	4
(5) 日 課 表	5
(6) 短期入所の取り組み	6
① 短期入所登録状況	6
② 短期入所実施状況	7
③ 短期入所の理由	8
(7) 令和5年度年間行事予定	10
3. 利用者の状況	11
(1) 措置機関別 措置機関別入所児数	11
(2) 年齢別	12
(3) 在園期間別年齢構成	13
(4) 障害程度	14
(5) 合 併 症	15
(6) 自閉症（自閉症傾向含む）	16
(7) 言 語	17
(8) 障害の状況	18
(9) 介助の程度別	19
(10) 就学	20

4. 健康管理	21
(1) 医療機関等受診、治療状況	21
① 各科別受診回数状況比較	21
② 診察科別受診状況	21
③ 学園内治療状況	22
(2) 肥満度状況	23
5. 栄養摂取の状況	24
6. 保護者の状況	25
(1) 保護者の状況	25
(2) 保護者の来園状況	25
(3) 長期家庭療育実施状況	26
(4) 令和4年度家庭状況別長期家庭療育実施状況	26
7. 入退所状況	27
(1) 入退所状況	27
(2) 入所者の年齢	28
(3) 退所者の年齢	28
(4) 退所理由	28
8. ボランティアの状況	29
 資 料	
(1) 措置機関別	30
(2) 年齢別・性別	31
(3) 在園年数状況	32
(4) 障害程度	33
(5) 自閉症	34
(6) 介助の程度別	35
(7) 就 学	36

1. 施設の概要

(1) 設置目的

児童福祉法第 42 条の規程に基づく福祉型障害児入所施設で、知的ハンディのある児童を受け入れ、これを援助すると共に、入所児童が独立自活に必要な知識技能を習得することを目的とする。

(2) 名称及び所在地

名 称 小原学園
所在地 豊田市沢田町座内 22 番地

(3) 敷地及び建物

小原福祉ビレッジ
敷地面積 44,308.24 平方メートル
建 物 鉄筋コンクリート造平屋 一部 2 階建て 1,650.34 平方メートル
(施設内学級 鉄骨造平屋 272.64 平方メートル)
新多目的室 170.45 平方メートル

(4) 設置及び経営

社会福祉法人 昭徳会

(5) 入所定員 40 人(ショート 4 人)

(6) 沿革

昭和12年 4 月 当時名古屋医科大学（現名古屋大学医学部）教授であった杉田博士が名古屋昭和区に「八事少年寮」を創設。

昭和24年 8 月 昭徳会が「八事少年寮」(定員 60 名)の経営を引き継ぐ。

昭和35年11月 法人自ら経営する養護施設「光明寮」を軽度の児童のための知的障害児施設に切り替え、「八事少年寮」(定員 120 名)には、中度及び重度の児童を、「光明寮」(定員 60 名)には軽度の児童を入所させ分類処遇を確立する。

昭和40年 4 月 三好町に移転。名称を「愛知県立三好学園」とする。
「光明寮」・「八事少年寮」の建物の老朽化に伴い、両施設を統合する。入所定員は 180 名。

昭和40年 7 月 定員 20 名の重度棟を増設する。入所定員が 200 名となる。

昭和54年 4 月 養護学校の義務教育化に伴い、全員就学となる。

昭和56年 4 月 知的障害者更生施設「三好寮」を開設。学園生の措置移行に伴い入所定員が、150 名となる。

昭和57年 4 月 知的障害者更生施設「三好寮」の定員増加に伴い、入所定員が、100 名となる。

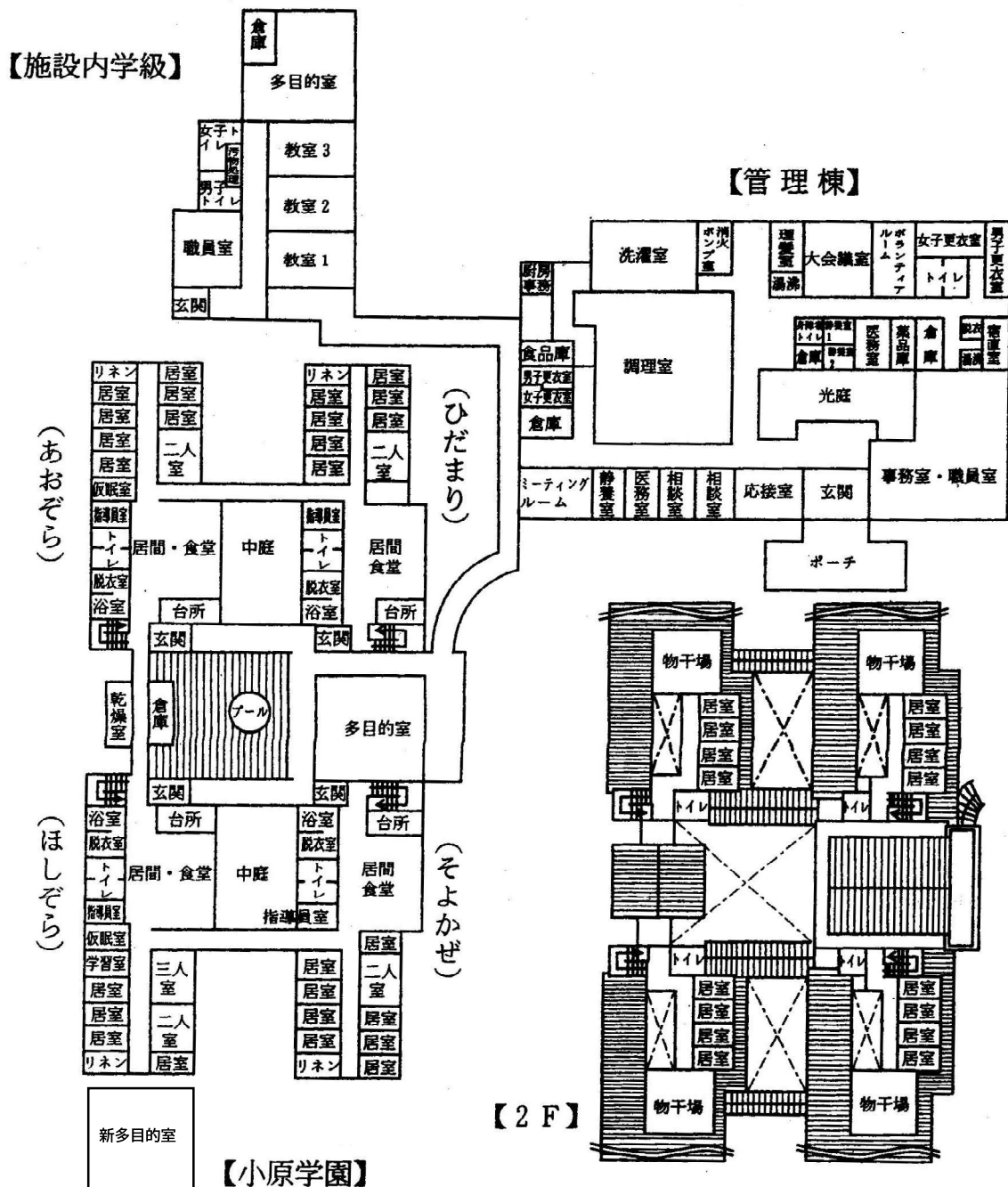
平成 9 年 4 月 児童数減少により、暫定定員となる。

平成17年 4 月 豊田市（旧小原村）に移転。名称を「小原学園」とする。
定員を減員し、入所定員は 50 名となる。

平成30年 4 月 入所定員を 40 名とし、小規模グループケアを開始する。

平成31年 4 月 三好特別支援学校から瀬戸つばき特別支援学校となる。

(7) 建物平面図



(8) 職種別職員数

() は非常勤

職種	園長	児童発達支援 管理責任者	事務員	児童指導員 保育士	心理士	介助員	栄養士	嘱託医	合計
定員	1	1	1	10		1		(2)	14 (2)
現員	1	1	1(1)	15(4)	(2)	1	1	(2)	20(9)

2. 援助の概要

(1) 概況

令和5年4月1日現在の在園児数は31名で、男子17名、女子14名である。

ア. 在園児童数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
男	19	18	19	19	17
女	15	16	13	11	14
合計	34	34	32	30	31

イ. 年齢

	6歳未満		6歳～12歳未満		12歳～15歳未満	15歳～18歳未満	18歳以上		計
	0～2	3～5	6～8	9～11	12～14	15～17	18～20	20～	
令和3年度	0	1	3	8	7	13	0	0	32
令和4年度	0	2	6	7	6	9	0	0	30
令和5年度	0	2	8	6	9	6	0	0	31

ウ. 障害程度(資料4参照)

	重度	中度	軽度	計
令和3年度	17 (6)	6 (3)	9 (8)	32 (17) ※未1含む
令和4年度	14 (4)	7 (4)	9 (8)	30 (16) ※未1含む
令和5年度	12 (5)	5 (5)	14 (13)	31 (23) ※未1含む

() 内は虐待理由(ネグレクト含む)での入所者数

令和4年度の高等部3年生は4名であったが、進路は年度内に決まり、皆無事退園することができた。令和5年度は31名でのスタートとなった。

障害の程度及び利用者の割合は、令和4年度と比べ重度利用者の割合が減り、軽度利用者の割合が上回った。又、虐待(ネグレクト含む)の割合が変わらず高く、全体で初めて70%を超えた。

年齢では高等部3年生4名が退園したため、平均年齢は昨年度から0.3才下がり、11.1歳となった。

(2) 援助目標

4つの援助目標を基本とし、利用者の発達段階を3つに大別し、各利用者の能力に応じた援助を行っている。

① 4つの援助目標

(ア) 日常生活に必要な基本的な習慣を身につける。

(イ) 自分や他人の体の安全を守り、健康の増進と運動能力の向上につながる日常生活を

身につける。

(ウ) 情緒の安定と精神活動の活発化及び社会性の向上を目指した生活を築く。

(エ) 作業及び学習をとおして、社会生活に必要な技能の習得を図る。

② 発達段階別援助

(ア) 身辺生活の自立

基本的な生活習慣(排泄・洗面等)の習得や集団生活をとれるようにしたり、清掃などを通して作業の基本を学ぶことを中心に多面的な援助を行う。

(イ) 学習能力の伸長

基本的な生活が確実に身につくように援助するとともに、交通安全など自分の身を守ること、お手伝いなどの作業、数字などの教材に関することを中心に援助を行う。

(ウ) 生活能力の伸長

基本的な生活習慣がおおむね自立している利用者を中心に、礼儀作法などきめ細かい高度な生活習慣をめざし、私生活のあり方、余暇時間の過ごし方、金銭の取り扱いなどを中心に援助を行う。

(3) 重点目標

【笑顔あふれるみんなの家

～あいさつから始めてつながろう～】

(4) 生活目標

項目	生活のめあて
集団 仲間意識	友達と仲良くし、互いに協力する態度を身につける。
食事	みんなでおいしく食事をいただくために、食事のマナーを身につける。
清掃	自分たちの身の回りから、きれいに掃除することを学ぶ。
価値	自分の物と、他人の物との区別を知り、すべての物を大切にすることを学ぶ。
着脱	衣服の正しい着方や履物の正しい履き方を身につける。
清掃	手や足をきれいに洗い、衣類が汚れたときは着替えて、いつも清潔を保つようにする。

(5) 日課表

6:30	起床・トイレ誘導 着替え・洗面、清掃・配膳
7:00	朝 食
7:20	登校準備
7:40	高等部登校
8:00	道慈小学校・小原中学校登校
8:50	施設内学級登校
11:30	配 膳
12:00	昼 食
15:00	施設内学級・道慈小学校下校（おやつ）
16:00	高等部・小原中学校下校（おやつ） 自由時間
17:30	夕 食
18:00	自由時間 入 浴
20:00	年少児就寝
21:00	就寝準備・就寝 特に希望する年長利用者については 22 : 00 就寝とする。
(注)	*日曜日・祝日（学校の休業日を含む）の場合、全利用者ともに 7:00 起 床 7:30 朝 食 また、前日の就寝は、22 : 00 とする。 *日課については、一部(起床時間等)を変更する等して歳相応の 生活リズムを提供していく。

(6) 短期入所の取り組み

学園は施設の専門機能を生かし地域の社会資源の一つとして、在宅福祉サービスの充実に努め、短期入所の受け入れや取り組みを積極的に行っている。

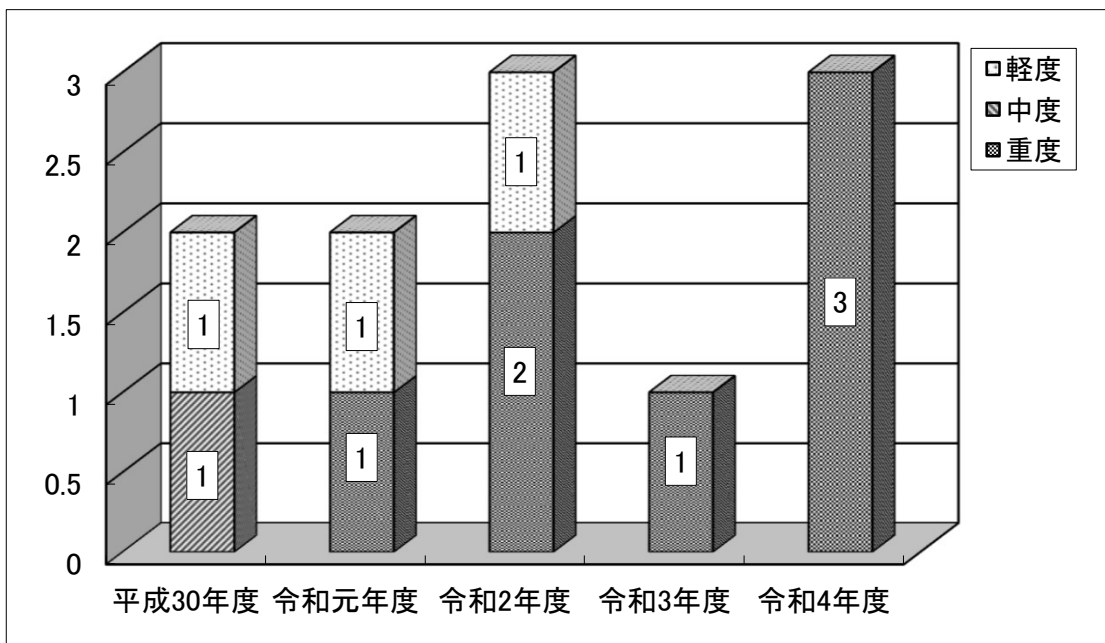
① 短期入所登録状況

区分	性別			合併症				市町村別										
	男	女	計	自閉症	染色体異常	身体障害	発作	豊田市	みよし市	豊明市	大府市	安城市	日進市	尾張旭市	知多市	瀬戸市	東郷町	計
	14	5	19	14	3	1	0	11	1	0	0	2	0	2	1	2	0	19

() は再登録

短期入所年度別新規登録障害状況

(単位 : 人)



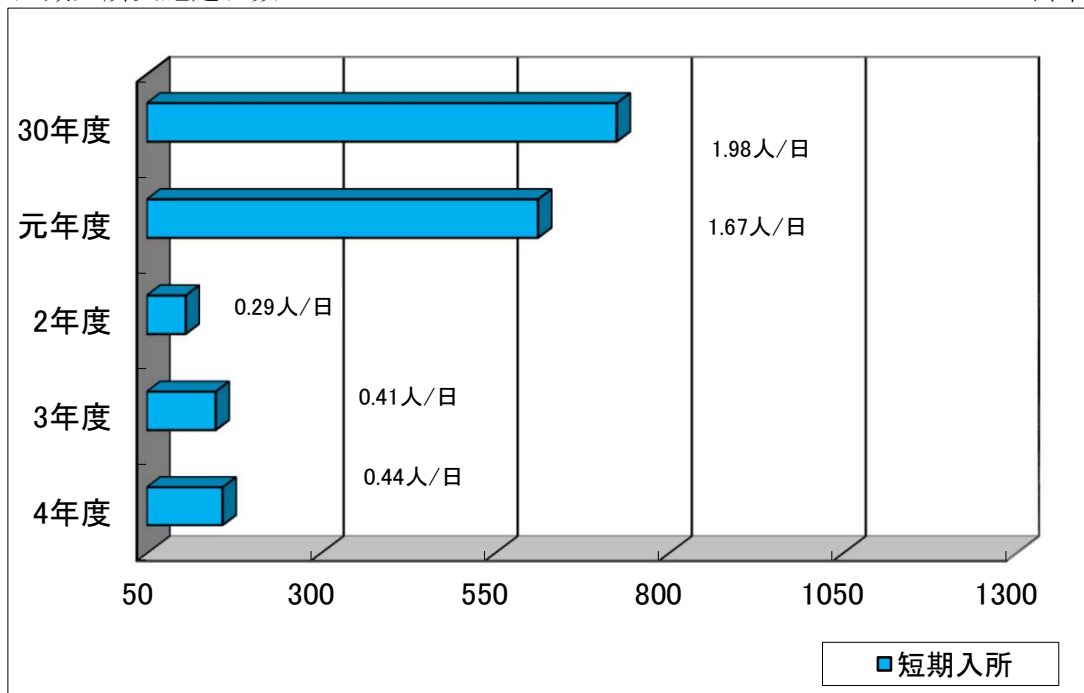
新規登録者は3名

令和4年度新規登録は3名で全て重度利用者であった。
登録者は6歳から高校生までの児童で、「仕事の都合」や「集団に慣れるための利用(有事の際に利用したい)」、「家族の病気・入院」など保護者の多様なニーズへの対応が求められた。

② 短期入所実施状況
 (ア) 1件あたりの利用日数

年度	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	20	21	27	183	計	措置 入所	延人数 延日数
		日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日			
30 年度	人 数	148	210	33	1			6							1						397		397
	利用日数	146	420	99	4			42							14						725		725
元 年度	人 数	147	195	9				2						1				1			356		356
	利用日数	146	420	27				42						13				21			612		612
2 年度	人 数	36	21	1		1											1				60		60
	利用日数	36	42	3		5											20				106		106
3 年度	人 数	69	33												1						103		103
	利用日数	69	66												14						149		149
4 年度	人 数	85	34				1														120		120
	利用日数	85	68				6														159		159

短期入所実施延日数 (単位：日)



短期入所、一日あたり0.44人の利用

日中短期入所の利用者数や短期入所の利用者数が年々減少傾向にあるが、2年続けて一日あたりの利用日数は微増した。

(イ) 短期入所の月別利用日数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人 数	3年度	7	13	8	14	13	27	15	10	10	14	5	13
	4年度	16	16	11	16	16	9	13	9	10	12	11	20

月平均延べ13日の利用

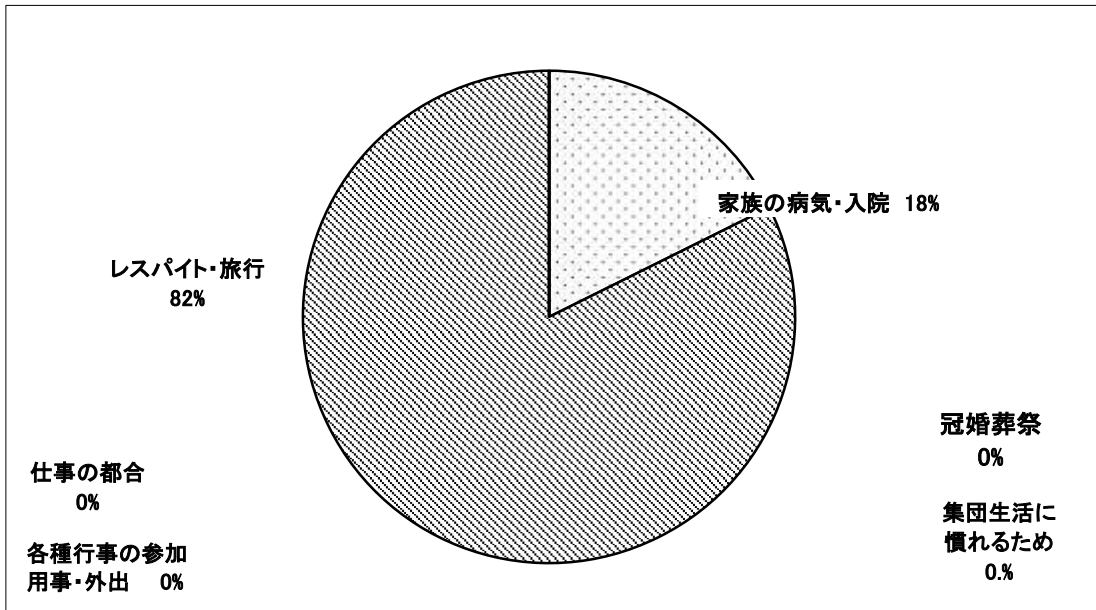
学校の長期休暇月(春休み、夏休み、冬休み)や祝祭日、土曜日の利用がほとんどであった。ただ、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響があったが、月平均の利用は13日で昨年度より微増であった。

③ 短期入所の理由

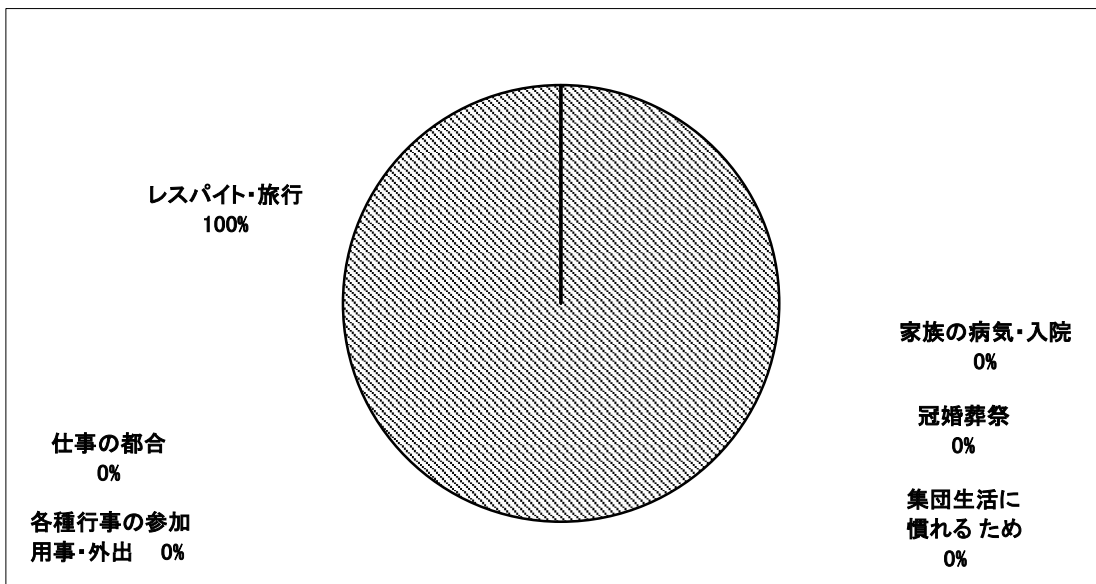
短期入所の理由			
内	訳	件数	延日数
仕	事	の	都
家	族	の	病
レ	ス	パ	イ
ト	・	旅	行
各	種	行	事
集	団	生	活
冠	婚	葬	祭
そ	の	他	
計		120	159

利用形態別・利用事由の状況

(ア) 日帰りの場合



(イ) 宿泊の場合



宿泊の利用理由「レスパイト」が100%

家庭療育困難な自閉症者及び重度者の利用が多く、「レスパイト(家族の休養)」を理由とした利用が100%となった。日帰りでも、「レスパイト」が多く半数以上を占め、家庭の負担軽減に繋がっている。日帰りでは、「家族の病気・入院」が2割弱であった。

(7) 令和5年度 年間行事予定

月	日	曜	行事計画	月	日	曜	行事計画
4月	3	月	家庭療育 ひな祭り	10月	21	土	家庭療育 社会見学 家庭療育 自治会主催行事
5月			GW 家庭療育 家庭療育	11月	11	土	秋まつり・学園祭 家庭療育
6月	17	土	みんなの行事 家庭療育	12月	22	金	家庭療育 大掃除・園外活動
					25	月	理事長クリスマス慰問 クリスマス会
					27	水	餅つき 冬季家庭療育
7月	7	木	七夕 家庭療育	1月	1	日	初詣・祝祷会
	20	木	学園夏まつり 家庭療育		2	月	書初め
					8	月	新年会 家庭療育
8月	2	水	夏季家庭療育 洞戸キャンプ(～3) 海水浴(選抜メンバー) 家庭療育	2月	3	金	節分 家庭療育 自治会主催行事 家庭療育
9月	29	金	家庭療育 お月見 家庭療育	3月	4	月	卒業を祝い励ます会 雛飾り 春季家庭療育

上記の他、随時、地域での買い物や、個別の要望に沿った園外活動等をする機会等を設けている。また、毎月、原則2,4の週末を「家庭療育日」として、家庭との絆を深め、利用者の心の安定を図ることにしているが、新型コロナウイルス感染症の状況により家庭療育の回数、宿泊の日数や面会時間等を判断していくことにしている。従来は家庭療育や面会の予定のない利用者に対しては、適宜園外指導により、社会体験、社会見学等を実施しているが、これも新型コロナウイルス感染症の状況に応じて企画や内容を変更していく。

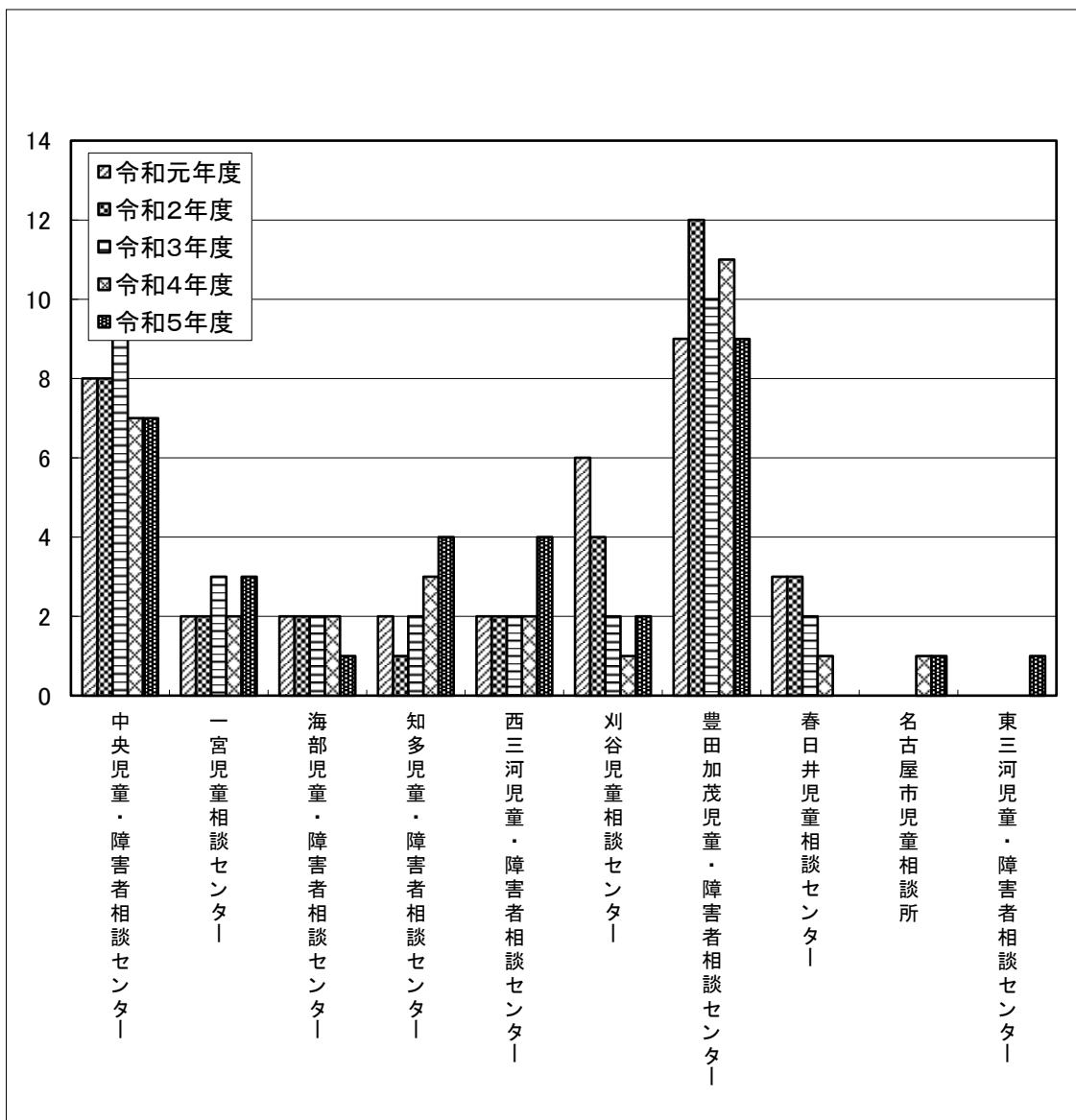
3. 利用者の状況

(1) 措置機関別

措置機関別入所見数

毎年4月1日現在（単位：人）

（資料1参照）



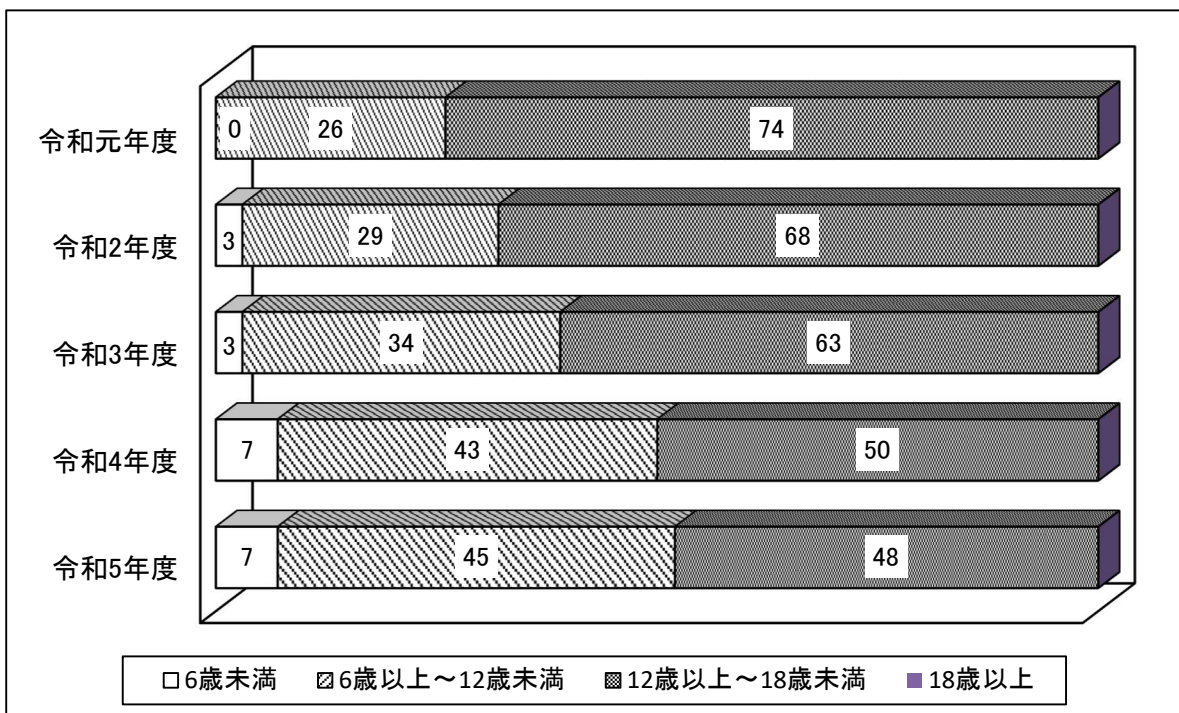
年々、減少傾向

3名の入所者を迎えたが、昨年度4名の高等部利用者が退園し人数減となった。昨年度と比べて海部、豊田加茂、春日井が減少し、一宮、知多、西三河、刈谷が増加した。中央と名古屋は変化なし。近年、東三河からの入所者はいなかったが、今年度新たに1名入所があった。春日井と新城・設楽からの入所者はいない。

(2) 年齢別

区 分	6 歳未満	6 歳以上～ 12 歳未満	12 歳以上～ 18 歳未満	18 歳以上
令和元年度	0	9	25	0
令和2年度	1	10	23	0
令和3年度	1	11	20	0
令和4年度	2	13	15	0
令和5年度	2	14	15	0

(資料2 参照)



(単位：%)

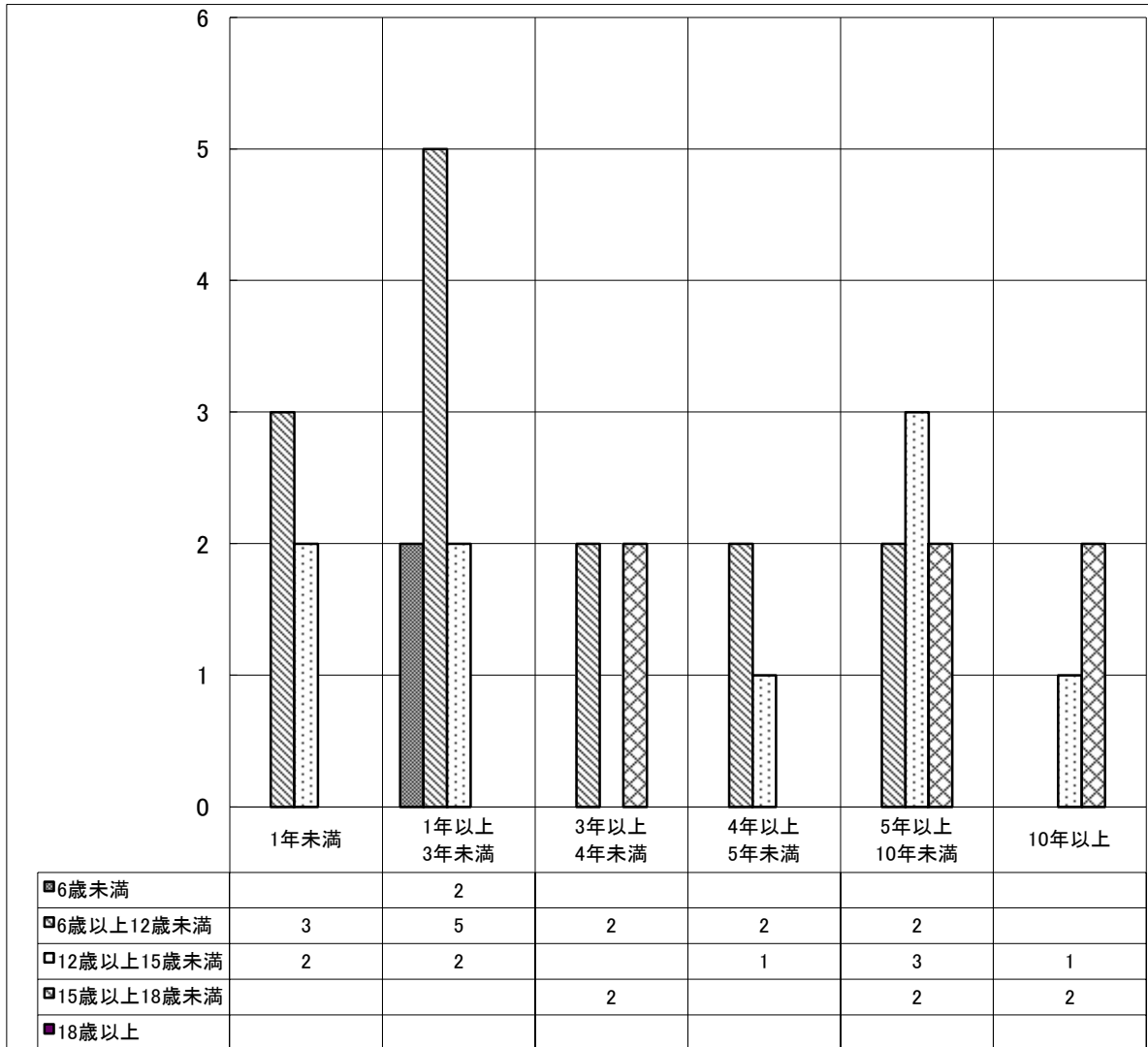
平均年齢は 11.1 歳

年少利用者の入所に伴い、男子の平均は昨年の 11.3 歳から 10.9 歳となり、女子の平均は 11.5 歳から 11.4 歳となった。全体の平均年齢は 11.1 歳である。

(3) 在園期間別年齢構成

4月1日現在 (単位:人)

(資料3参照)

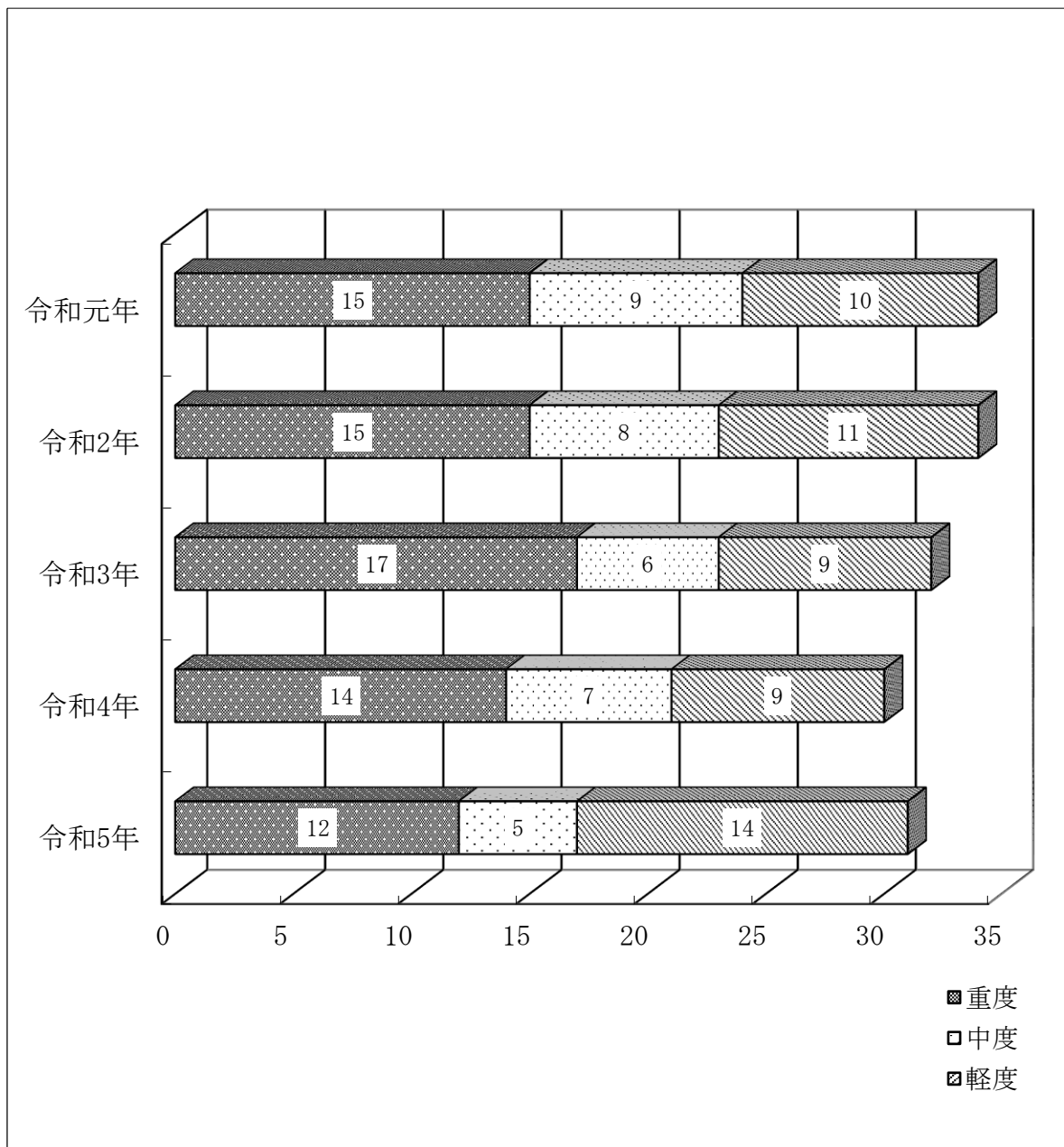


年齢超過児童 0名

令和4年度の高等部3年生(4名)が退園し、年齢超過児童は昨年に引き続きいない。在園機関は1年以上3年未満が一番多く9名となっており、他の在園期間は概ね同じ人数となっている。

(4) 障害程度

(単位：人)



(資料4参照)

中軽度の割合が重度を上回った

昨年度に引き続き、重度者が2名減って12人、中軽度者が19人となり、中軽度者の割合が重度者の割合を上回ることになった。重度者の内訳は男子利用者が58.8%、女子利用者が14.2%と男子重度者の割合が多い。

(5) 合併症

(単位：人)

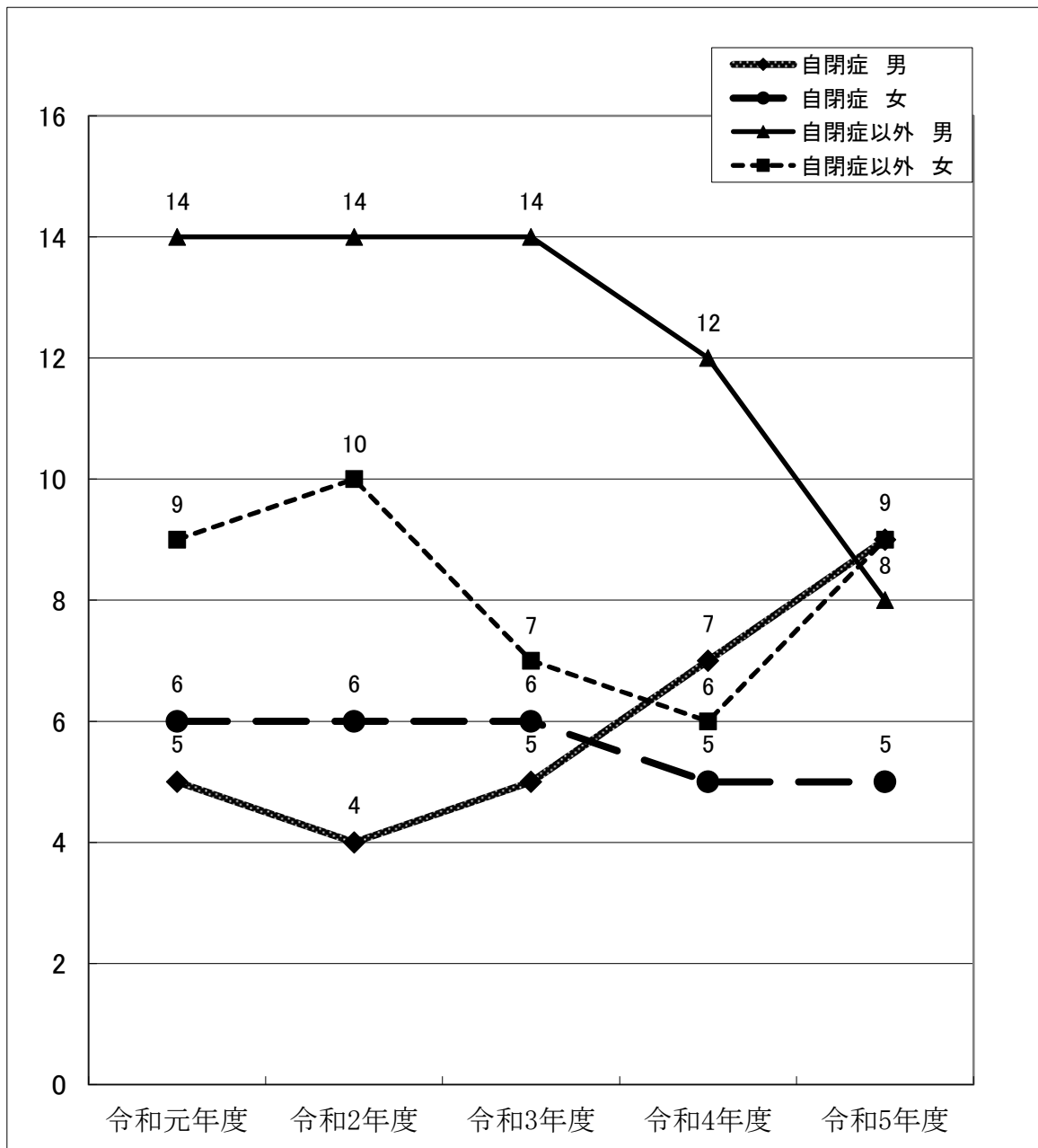
区 分	無	有	「有」者の内訳 (症状が2項目以上ある場合は、各々に計上)					
			自閉症	身体 障害	染色体 異常	発作	その他	
重 度	0	12 (20)	(7)	(0)	(4)	(0)	(9)	
中 度	1	4 (6)	(2)	(0)	(0)	(0)	(4)	
軽 度	5	9 (11)	(5)	(1)	(0)	(0)	(5)	
計	6	25 (37)	(14)	(1)	(4)	(0)	(18)	
内 訳	男	3	14 (21)	(9)	(0)	(3)	(0)	(9)
	女	3	11 (16)	(5)	(1)	(1)	(0)	(9)

—— 全体の 80.6%が合併症「有」 ——

合併症の中で多く見られる自閉症は利用者全体の 45.0%、合併症の 56.0%を占めている。染色体異常の項目にはダウン症が含まれる。合併症の「その他」の項目には、ADHD、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、中耳炎、喘息が挙げられている。

(6) 自閉症（自閉症傾向を含む）

毎年4月1日現在（単位：人）



（資料5参照）

自閉症利用者の割合は45.2%

昨年度と比べ自閉症利用者の数は2名増え14名となった。割合は全体で昨年度の40.0%から45.2%に増加した。又、男女別では男子利用者のうち自閉症者が52.9%、女子利用者は35.7%と男子利用者の自閉症比率の方が高い。

(7) 言語

(単位：人)

区 分		会話ができる	話せるが二語文である	単語のみ	言語なし	計
重 度		1	2	2	7	12
中 度		3	0	0	2	5
軽 度		14	0	0	0	14
計 (%)		18 (58%)	2 (6.5%)	2 (6.5%)	9 (29%)	31 (100%)
1	男	6	1	2	8	17
	女	12	1	0	1	14

<項目ごとの比率(%)は小数点第2位を四捨五入している。>

58%が会話可能

昨年度より、会話できる利用者が増えた。言語理解や表出がうまく行えない利用者に対しては、簡単な声掛けやジェスチャー、写真等を利用して、利用者にあったコミュニケーションが取れるよう支援している。

(8) 障害の状況

区分	食 事 関 係							排 泄 関 係							
	症状 無	症状 有	「有」の内訳					症状 無	症状 有	「有」の内訳					
			過食	異食	盗食	反芻	嘔吐			夜尿	夜便	弄便	放尿	放便	漏便
男	11	6 (12)	(4)	(3)	(4)	(1)	(0)	2	15 (20)	(14)	(2)	(0)	(3)	(0)	(1)
女	12	2 (2)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	10	4 (5)	(4)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)
計	23	8 (14)	(6)	(3)	(4)	(1)	(0)	12	19 (25)	(18)	(3)	(0)	(3)	(0)	(1)

区分	睡 眠 関 係			
	症状 無	症状 有	「有」の内訳	
			浅眠	夜中に起きて徘徊
男	12	5 (8)	(4)	(4)
女	10	4 (4)	(2)	(2)
計	22	9 (12)	(6)	(6)

(注) 「有」の内訳は該当する項目全てに計上しており、()は延べ人数となる。

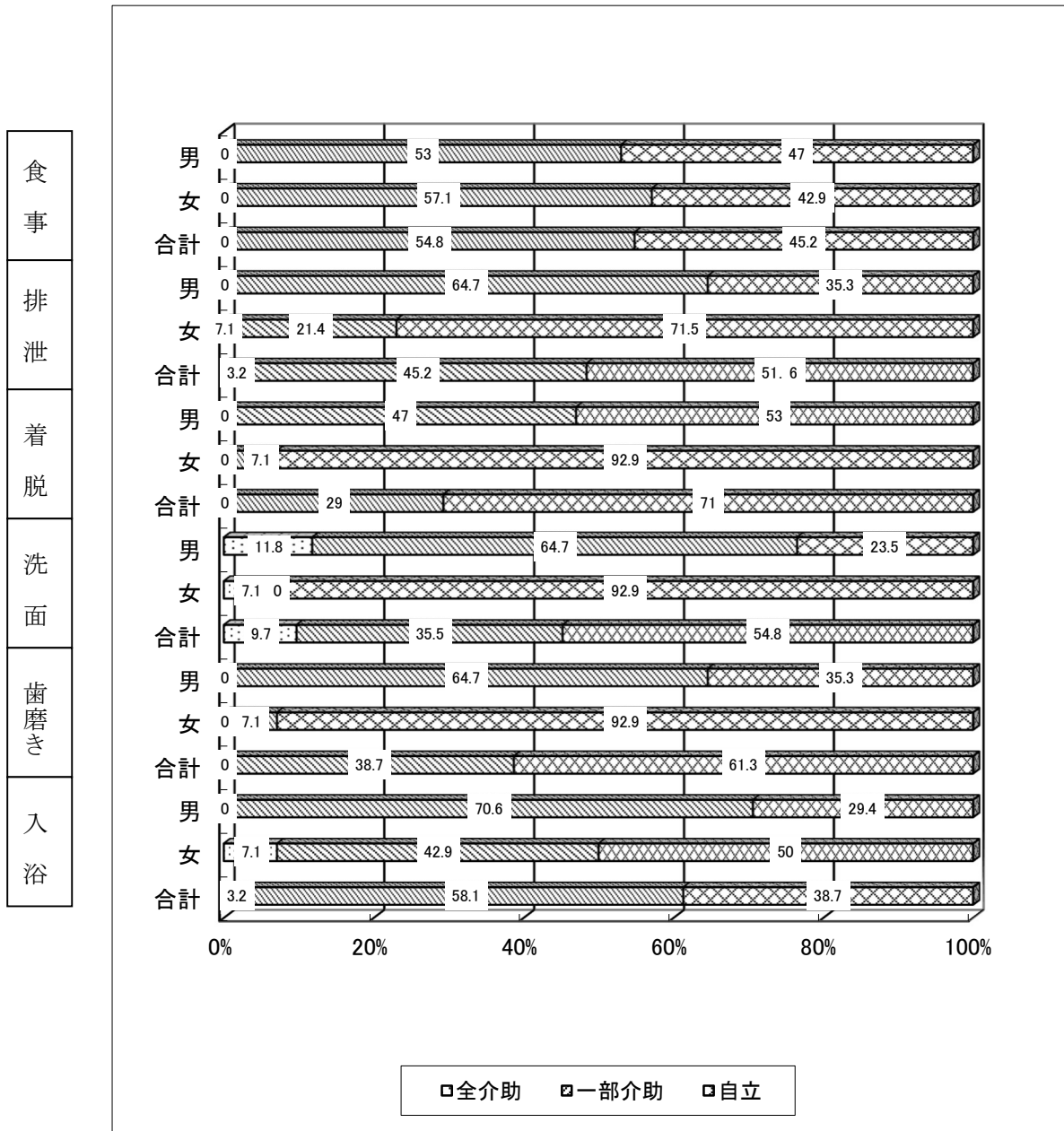
区分	そ の 他 行 動 関 係														
	症状 無	症状 有	「有」の内訳												
			乱暴	器物 破損	盗癖	自傷	奇声	破衣	脱衣	自慰	固執	多動	無外	肛門 触り	つば 遊び
男	6	11 (48)	(7)	(4)	(7)	(3)	(5)	(0)	(2)	(1)	(4)	(9)	(4)	(0)	(2)
女	5	9 (20)	(4)	(3)	(3)	(4)	(1)	(0)	(0)	(0)	(4)	(1)	(0)	(0)	(0)
計	11	20 (68)	(11)	(7)	(10)	(7)	(6)	(0)	(2)	(1)	(8)	(10)	(4)	(0)	(2)

行動関係の変化

昨年度に比べ、食事、排泄、睡眠関係では大きな変動は見られていない。不適応行動では、一人の利用者が様々な行動を併せ持つ傾向が昨年引き続き表れている。

(9) 介助の程度別

(単位：%)



(資料 6 参照)

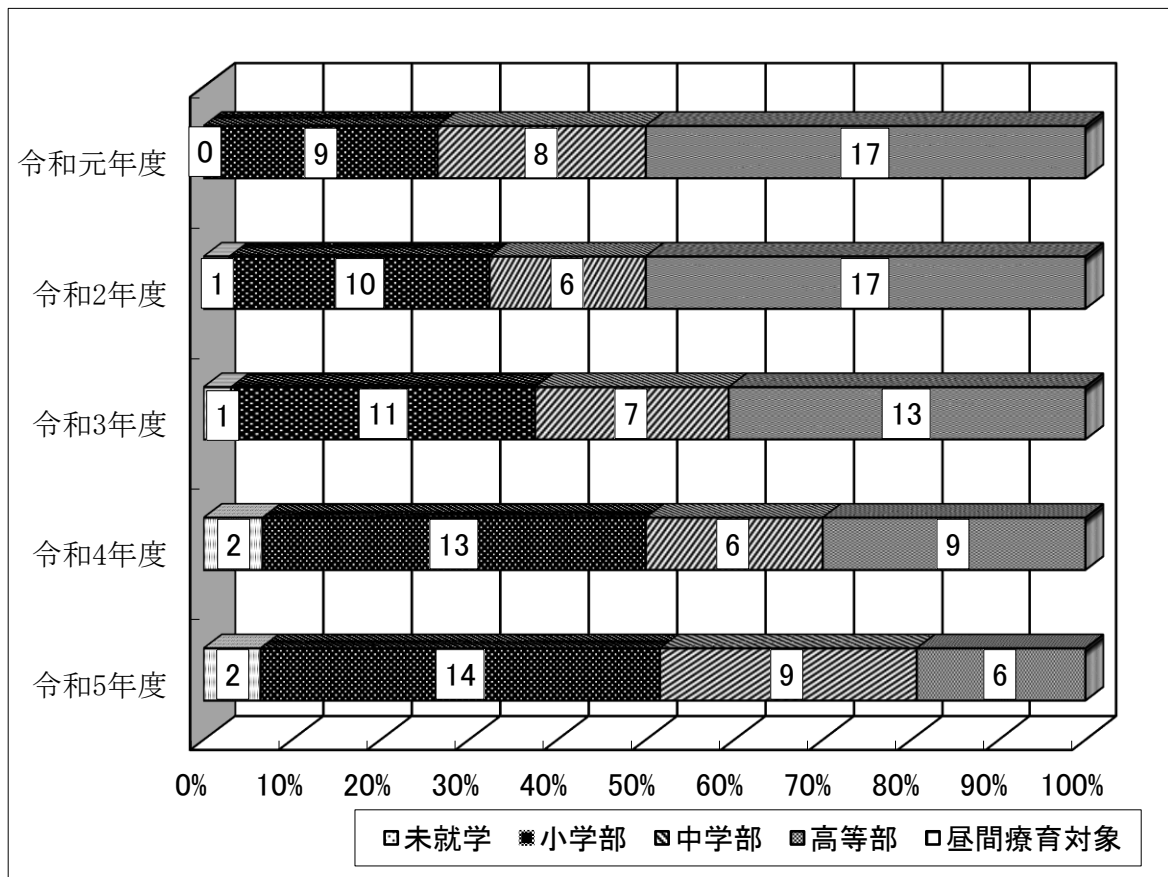
「着脱」と「排泄」の自立度

「着脱」の自立度が71%と高く、一番自立度が低い項目は昨年同様「入浴」であった。利用者の低年齢化もあり、排泄と洗面と入浴は「全介助」の利用者がいた。食事と排泄は一部介助と自立がほぼ半々であった。

(10) 就学

(毎年4月1日現在)

(単位：%)



(資料7参照)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
未就学	0	1	1	2	2
小学部	9	10	11	13	14
中学部	8	6	7	6	9
高等部	17	17	13	9	6
昼間療育対象	0	0	0	0	0
計	34	34	32	30	31

半数近くが小学部利用者

高等部利用者は4名が退園し、高等部1年生が1名だったことから減少した。小学部と中学部は昨年度途中入所者と今年度新規利用者により増加した。

4. 健康管理

(1) 医療機関等受診、治療状況

① 各科別受診回数状況比較(延人数)

(単位 : 回)

診療科目	内科	小児科	外科	整形外科	神経科	耳鼻科	眼科	皮膚科	歯科	循環器科	婦人科	予防接種	リハビリ	脳健康診断	総延人数
平成30年度	124	36	17	8	159	62	13	55	40	0	0	40	0	12	566
令和元年度	35	36	5	4	123	70	13	98	16	0	0	35	0	7	442
令和2年度	39	64	9	7	136	68	20	132	64	1	0	39	0	12	591
令和3年度	50	88	0	9	82	50	17	102	49	1	0	71	6	9	534
令和4年度	74	10	9	9	65	35	12	83	9	0	1	31	0	127	465

② 診療科別受診状況(投薬のみの受け取りも含む)

(単位 : 回)

区分	内科	小児科	外科	整形外科	神経科	耳鼻科	眼科	皮膚科	歯科	循環器科	婦人科	予防接種	リハビリ	脳健康診断	計
4月	延人数	12	2	0	1	5	11	0	6	1	0	0	0	0	38
	実人数	8	2	0	1	3	6	0	5	1	0	0	0	0	26
5月	延人数	1	3	0	0	5	1	2	5	0	0	0	0	0	32
	実人数	1	3	0	0	5	1	1	5	0	0	0	0	0	32
6月	延人数	4	1	0	3	7	0	2	7	0	0	0	0	16	40
	実人数	4	1	0	2	6	0	1	6	0	0	0	0	16	36
7月	延人数	4	2	0	0	6	0	1	3	1	0	0	0	1	18
	実人数	4	2	0	0	5	0	1	3	1	0	0	0	1	17
8月	延人数	2	0	0	0	6	1	0	5	0	0	0	0	16	30
	実人数	2	0	0	0	5	1	0	5	0	0	0	0	16	29
9月	延人数	7	0	1	1	6	2	2	8	0	0	0	0	2	29
	実人数	7	0	1	1	5	2	2	5	0	0	0	0	2	25
10月	延人数	12	0	5	0	4	0	2	1	0	0	30	0	44	98
	実人数	8	0	3	0	4	0	2	1	0	0	30	0	44	92
11月	延人数	10	1	2	0	4	3	1	10	1	0	1	0	0	33
	実人数	7	1	1	0	4	3	1	8	1	0	1	0	0	27
12月	延人数	9	0	1	2	6	6	0	9	0	0	0	0	15	48
	実人数	7	0	1	1	5	4	0	5	0	0	0	0	15	38
1月	延人数	5	1	0	1	5	3	1	13	0	1	0	0	0	30
	実人数	4	1	0	1	5	3	1	6	0	1	0	0	0	22
2月	延人数	4	0	0	0	5	3	0	9	0	0	0	0	1	22
	実人数	3	0	0	0	5	3	0	5	0	0	0	0	1	17
3月	延人数	4	0	0	1	6	5	1	7	6	0	0	0	0	30
	実人数	3	0	0	1	5	5	1	5	4	0	0	0	0	24
4月	延人数	74	10	9	9	65	35	12	83	9	1	31	0	127	465
	実人数	58	10	6	7	57	28	10	59	7	0	31	0	127	401

令和4度の受診状況

内科では、熱発者は数名あったが新型コロナウイルス、インフルエンザ、感染性胃腸炎等の感染者はなかった。

耳鼻科、眼科は花粉症者が増加、しかし通院回数に変化はなかった。

神経、精神科は、服薬内容によりこまめな通院が必要な利用者もあったが、症状が安定しており通院感覚が長くてもよい利用者もあり通院回数は減少した。

歯科は、昨年度までは歯石、歯肉炎、歯並び異常等は定期通院、定期健診(年4回の歯磨き指導、フッ素塗布あり)の経過観察で良かったが、今年度は入所時に殆どの歯の治療が必要な利用者もあった。毎日の歯磨き、早期治療が大切な為、今後も継続していきたい。

皮膚科は、アトピー性皮膚炎が殆どで、虫刺され、にきびの利用者も数名いた。

婦人科は、生理不順(生理周期や無い月)で通院した利用者がいた為、新たに増えた。

③学園内治療状況

(令和4年度) 単位：回

区分		内科	外傷	自傷	打撲捻挫	処皮膚置科	眼科処置	処耳鼻置科	計
4月	延人数	1	0	0	0	67	2	0	70
	実人数	1	0	0	0	5	1	0	7
5月	延人数	0	0	1	0	69	4	0	74
	実人数	0	0	1	0	6	3	0	10
6月	延人数	2	0	0	2	71	0	1	76
	実人数	1	0	0	1	5	0	1	8
7月	延人数	0	1	0	2	70	0	0	73
	実人数	0	1	0	1	5	0	0	7
8月	延人数	1	0	0	0	72	2	1	76
	実人数	1	0	0	0	5	1	1	8
9月	延人数	0	0	0	1	63	0	0	64
	実人数	0	0	0	1	5	0	0	6
10月	延人数	2	0	0	2	60	0	0	64
	実人数	1	0	0	1	5	0	0	7
11月	延人数	0	1	1	0	64	1	0	67
	実人数	0	1	1	0	6	1	0	9
12月	延人数	1	0	0	0	66	0	3	70
	実人数	1	0	0	0	6	0	1	8
1月	延人数	0	0	0	0	65	0	5	70
	実人数	0	0	0	0	5	0	1	6
2月	延人数	1	1	0	1	63	7	0	73
	実人数	1	1	0	1	5	5	0	13
3月	延人数	0	0	0	0	67	14	0	81
	実人数	0	0	0	0	5	6	0	11
計	延人数	8	3	2	8	797	30	10	858
	実人数	6	3	2	5	63	17	4	100

(2) 肥満度状況

ローレル指数(未就学児～小学生を対象)とBMI(中学生以上を対象)にわけ、肥満度を算出した。

ア. ローレル指数

令和5年3月現在(単位:人)

		男 子	女 子
標準以下	100未満(やせすぎ)	0	0
	100～115未満(やせてる)	1	0
標準	115～145未満(普通)	8	5
標準以上	145～160未満(太ってる)	0	0
	160以上(太りすぎ)	1	1

イ. BMI

		男 子	女 子
標準以下	18.5未満(やせてる)	3	0
標準	18.5～25未満(普通)	6	6
標準以上	25～30未満(肥満Ⅰ)	0	1
	30～35未満(肥満Ⅱ)	0	0
	35～40未満(肥満Ⅲ)	0	0
	40以上(肥満Ⅳ)	0	0

標準は全体の約78%

利用者32名中、ローレル指数対象者は16名、BMI対象者16名であった。25名の利用者が標準範囲内にいる。やせの利用者は4名と利用者の約8分の1を占めるが殆どの利用者が標準値に近く、年齢にあった摂取カロリーは十分に取れて、身長は伸びても体重に変化がみられないのが現状であるために、様子を見ていきたい。

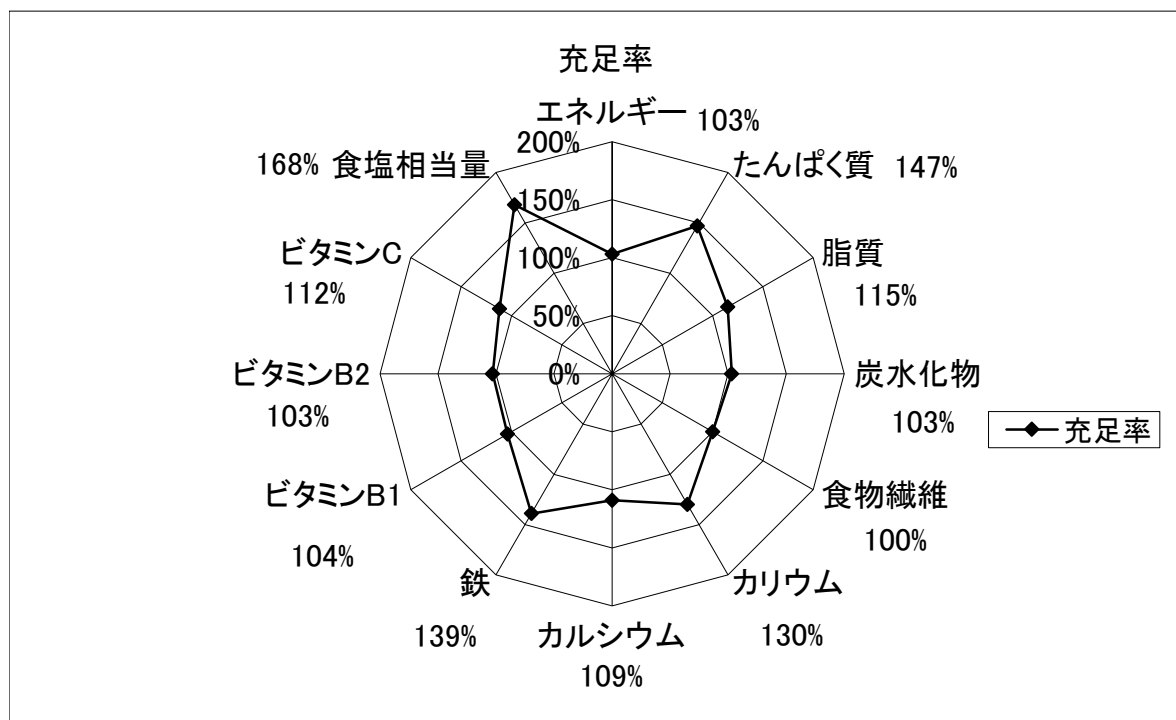
標準以上の利用者3名は摂取カロリーや運動等に気を付けていき、生活習慣病の予防のために、日常の運動、食事及び、おやつ等で経過観察中である。

5. 栄養摂取の状況

(令和4年度)

区分	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂質 g	炭水化物 g	食物繊維 g	カリウム mg	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンB1 mg	ビタミンB2 mg	ビタミンC mg	食塩相当量 g
4月	2,469	82.7	84.8	336.5	18.6	2,767	766	10.8	1.38	1.41	108	11.5
5月	2,365	79.4	75.6	333.9	18.1	2,633	687	10.1	1.23	1.26	114	11.3
6月	2,386	79.5	74.8	348.1	17.2	2,600	693	9.2	1.24	1.24	113	10.9
7月	2,377	81.0	74.4	341.8	17.8	2,654	711	9.5	1.24	1.24	113	11.1
8月	2,372	80.5	73.9	338.1	17.4	2,535	737	10.0	1.28	1.24	102	11.0
9月	2,367	79.6	71.6	344.6	18.1	2,651	688	9.6	1.24	1.22	111	10.9
10月	2,394	81.0	74.9	341.3	17.4	2,493	690	9.0	1.24	1.23	106	10.8
11月	2,339	78.2	68.7	344.6	17.5	2,470	654	9.0	1.18	1.14	112	10.6
12月	2,408	82.4	74.8	343.8	18.0	2,608	757	9.6	1.26	1.24	107	10.8
1月	2,310	82.6	70.3	329.9	18.9	2,612	737	10.3	1.24	1.23	123	10.8
2月	2,378	80.2	73.9	339.3	18.6	2,513	672	9.5	1.20	1.21	111	10.9
3月	2,342	80.1	67.2	344.8	19.2	2,594	719	10.1	1.23	1.16	128	10.6
平均	2,376	80.6	73.7	340.6	18.1	2,594	709	9.7	1.25	1.24	112	10.9
基準栄養量	2,300	55.0	63.9	330.6	18.0	2,000	650	7.0	1.20	1.20	100	6.5
充足率 (%)	103%	147%	115%	103%	100%	130%	109%	139%	104%	103%	112%	168%

*生活活動強度Ⅱ（やや低い）



6. 保護者の状況

(1) 保護者の状況

(令和5年4月1日現在)

区 分		重 度	中 度	軽 度	計	構成比(%)
両 親	実 父 母	6	4	6	16	51.6
	実父・継母	1	0	1	2	6.5
	継父・実母	0	0	1	1	3.2
父 親 の み		1	1	1	3	9.7
母 親 の み		4	0	5	9	29.0
そ の 他		0	0	0	0	0
計		12	5	14	31	100

(2) 保護者の来園状況

(令和4年度)

区 分		月2回以上	月1回以上	不定期	なし	計
両 親	実 父 母	1	3	7	4	15
	実父・継母	0	1	0	1	2
	継父・実母	0	0	1	0	1
父 親 の み		0	1	2	1	4
母 親 の み		0	0	4	5	9
そ の 他		0	0	0	1	1
計		1	5	14	12	32
構成比 (%)		3.1	15.6	43.8	37.5	100

保護者の来園状況

昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染防止の為、帰省や面会の制限を行い、保護者の来園回数が少ない状況が続いている。可能な時には制限を緩和した事で、昨年度と同様に不定期に来園する保護者が多く、昨年度と比較して帰省や面会がない利用者の割合が減少した。

(3) 長期家庭療育実施状況

	区分	なし	1～3泊	4～6泊	7～9泊	10泊以上	計	対象利用者数
夏 期	平成30年度	22	5	5	4	2	38	38
	令和元年度	17	9	4	2	3	35	35
	令和2年度	24	10	0	0	0	34	34
	令和3年度	23	8	2	0	0	33	33
	令和4年度	23	8	0	0	0	0	31
冬 期	平成30年度	20	5	8	2	4	39	39
	令和元年度	18	6	6	3	3	36	36
	令和2年度	24	10	0	0	0	34	34
	令和3年度	21	13	0	0	0	34	34
	令和4年度	22	10	0	0	0	32	32

(4) 令和4年度 家庭状況別長期家庭療育実施状況

	区分	なし	1～3泊	4～6泊	7～9泊	10泊以上	計	備考	
夏 期	両親	実父母	10	4	0	0	0	14	*夏期の利用者 短期利用は除く 31名
		実父・継母	2	0	0	0	0	2	
		継父・実母	1	0	0	0	0	1	
	父親のみ	1	2	1	0	0	4		
	母親のみ	8	1	0	0	0	9		
	その他	1	0	0	0	0	1		
	計	23	7	1	0	0	31		
冬 期	両親	実父母	9	6	0	0	0	15	*冬期の利用者 短期利用は除く 32名
		実父・継母	2	0	0	0	0	2	
		継父・実母	1	0	0	0	0	1	
	父親のみ	2	2	0	0	0	4		
	母親のみ	7	2	0	0	0	9		
	その他	1	0	0	0	0	1		
	計	22	10	0	0	0	32		

夏期・冬期の家庭療育状況

新型コロナウイルス感染防止の為に帰省の制限を行ったことで、帰省が実施された利用者は昨年度と変わらず3割程度であった。昨年度と同様に1～3泊に限定して帰省を実施し、合計宿泊数は少々減少した。

7. 入退所状況

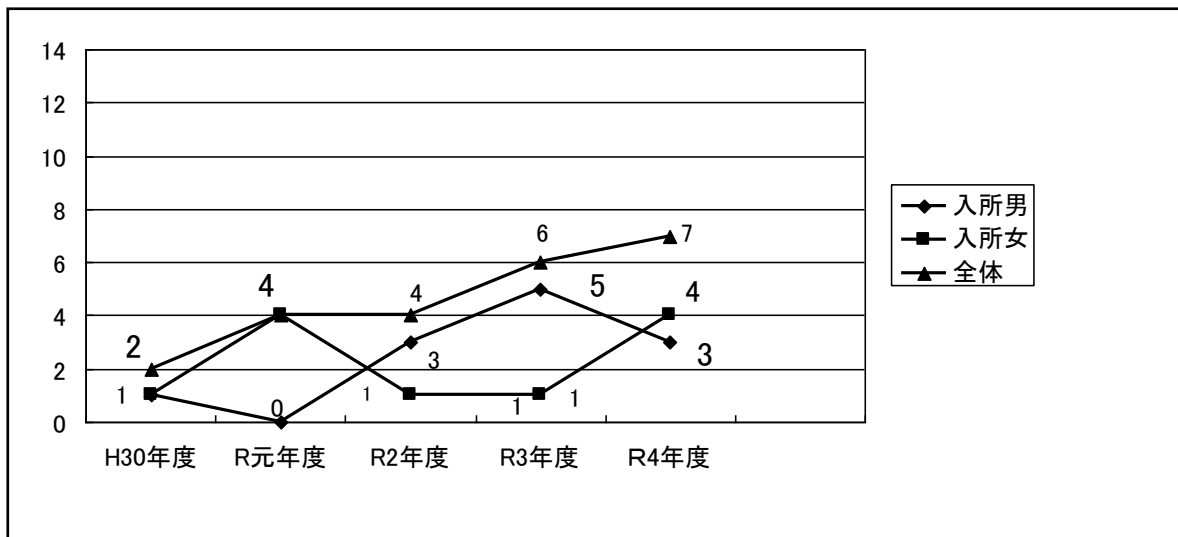
(1) 入退所状況

(単位：人)

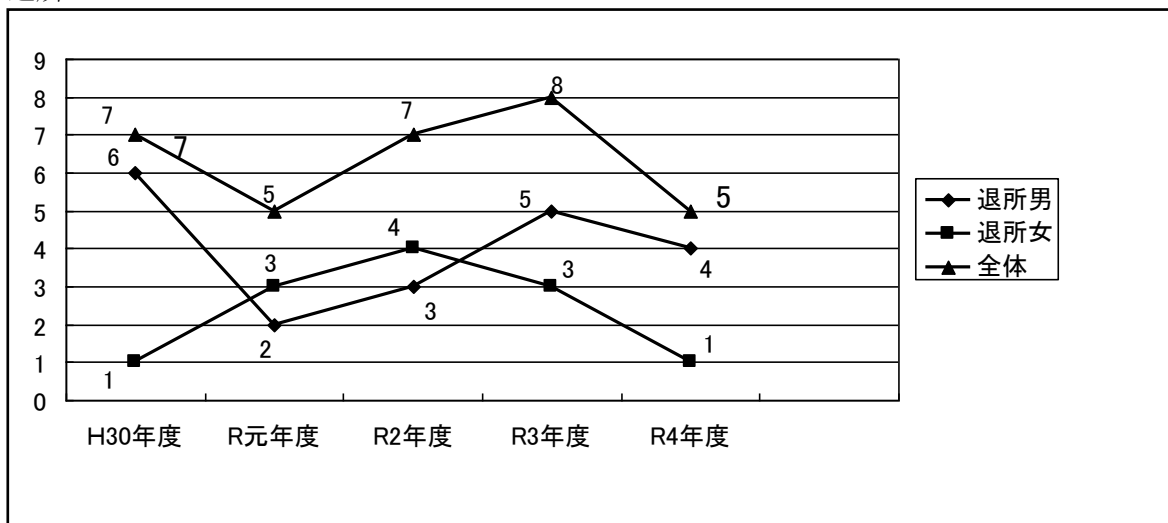
区 分		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
入 所	男	1	0	3	5	3
	女	1	4	1	1	4
	計	2	4	4	6	7
退 所	男	6	2	3	5	4
	女	1	3	4	3	1
	計	7	5	7	8	5

(カッコ内は短期の措置入)

入所



退所



(2) 入所者の年齢（令和4年度）

（単位：人）

区 分	6歳以下		7～12歳		13～15歳		16～18歳		合 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
重 度	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2
中 度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
軽 度	1	0	0	3	0	1	0	0	1	4	5
計	2	0	1	3	0	1	0	0	3	4	7

(3) 退所者の年齢（令和4年度）

（単位：人）

区 分	6歳以下		7～12歳		13～15歳		16～18歳		合 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
重 度	1	0	0	0	0	0	1	1	2	1	3
中 度	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2
軽 度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	0	0	0	0	0	3	1	4	1	5

(4) 退所理由（令和4年度）

（単位：人）

区 分	家 庭	通所施設	成人施設	児童施設	入 院	GH他	計
重 度	1	0	2	0	0	0	3
中 度	0	0	0	0	0	2	2
軽 度	0	0	0	0	0	0	0
計	1	0	2	0	0	2	5

8. ボランティアの状況

(単位：人)

月 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		労働型	労力	67	59	41	67		34	13	42	56		
理髪	3		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
交流型	地域交流				1					1	1		1	4
	M☆ フレンズ			6	8	3	3	8	11	2	1			42
	学生													
	その他			5					6					11
小計		70	62	55	79	6	40	24	62	62	5	3	15	483

ボランティア状況

労働型のボランティアは、令和3年度は雨天、台風等の悪天候により中止になることが複数回あったが、令和4年度は天候に恵まれ、計画通りに清掃や除草作業をしてもらうことができ、参加人数が大幅に増えた。交流型のボランティアについては、新型コロナウイルスの感染対状況に合わせてボランティアを受け入れ、状況としては令和3年度とほぼ変わらなかった。

資 料

(1) 措置機関別

資料 1

(毎年4月1日現在) 単位：人

措 置 機 関	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
中央児童・障害者 相談センター	5	3	8	5	3	8	6	3	9	5	2	7	5	2	7
一宮児童 相談センター	1	1	2	1	1	2	2	1	3	1	1	2	1	2	3
海部児童・障害者 相談センター	2		2	2		2	2		2	2		2	1		1
知多児童・障害者 相談センター	1	1	2		1	1	1	1	2	2	1	3	2	2	4
西三河児童・障害 者相談センター	1	1	2		2	2		2	2		2	2	1	3	4
刈谷児童 相談センター	1	5	6	1	3	4	1	1	2	1		1	1		1
豊田加茂児童・障 害者相談センター	6	3	9	7	5	12	5	5	10	6	5	11	5	4	9
	(1)		(1)	(2)		(2)	(1)		(1)	(1)		(1)	(1)		
名古屋市中央 児童相談所										1		1	1		1
春日井児童相談 センター	2	1	3	2	1	3	2	0	2	1	0	1	0		0
東三河児童・障 害者相談セン ター														1	1
計	19	15	34	18	16	34	19	13	32	19	11	30	17	14	31
	(1)		(1)	(2)		(2)	(2)		(2)	(2)		(2)	(2)		(2)

()は契約利用者

(2) 年齢別・性別

資料 2

(毎年4月1日現在) 単位：人

年齢	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
3										1		1			
4											1	1	1		1
5					1	1	1		1					1	1
6					1	1	1	1	2	2		2	1		1
7	2	2	4					1	1	2	1	3	2	1	3
8	1		1	2	2	4					1	1	2	2	4
9	1	1	2	1		1	2	2	4					1	1
10	1	1	2	1	1	2	1		1	3	2	5			
11				1	1	2	2	1	3	2		2	3	2	5
12	1	2	3	1		1	2	1	3	2	1	3	2	1	3
13	1		1	1	2	3	1		1	1	1	2	2	2	4
14	3	1	4	1	1	2	1	2	3	1		1	1	1	2
15	4	2	6	3	1	4	1	1	2	1	2	3	1		1
16	3	4	7	4	2	6	3	1	4	1	1	2	1	2	3
17	2	2	4	3	4	7	4	3	7	3	1	4	1	1	2
18															
19															
合計	19	15	34	18	16	34	19	13	32	19	11	30	17	14	31
平均年齢	13.1	13.1	13.1	13.6	12.7	13.2	12.8	12.6	12.7	11.3	11.5	11.4	10.9	11.4	11.1

(3) 在園年数状況

資料 3

(毎年4月1日現在) 単位：人

区 分		令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年未満	1年未満	2	1	3	1	3	4	4	1	5	5	1	6	1	4	5
	1年～2年未満	1	2	3	2	1	3	1	3	4	3		3	5	1	6
	2年～3年未満	1	1	2	1	2	3	2	1	3	1	3	4	3		3
	3年～4年未満				1	1	2	1	2	3	2	1	3	1	3	4
	4年～5年未満	5	2	7				1	1	2	1	2	3	2	1	3
	小計	9	6	15	5	7	12	9	8	17	12	7	19	12	9	21
5年未満	5年～6年未満	1	3	4	5	2	7				1	1	2		2	2
	6年～7年未満	3	1	4	1	4	5	3	2	5				1	1	2
	7年～8年未満				3	1	4	1	1	2	2	2	4			
	8年～9年未満	4	1	5				3	1	4				2	1	3
	9年～10年未満		1	1	3		3				2	1	3			
	小計	8	6	14	12	7	19	7	4	11	5	4	9	3	4	7
10年未満	10年～11年未満	1		1				3		3				2	1	3
	11年～12年未満	1	3	4	1	1	2				2	0	2			
	12年～13年未満					1	1									
	13年～14年未満								1	1						
	14年～15年未満															
	小計	2	3	5	1	2	3	3	1	4	2	0	2	2	1	3
15年以上																
合 計		19	15	34	18	16	34	19	13	32	19	11	30	17	14	31

(4) 障害程度

資料 4
(毎年4月1日現在) 単位：人

		重 度	中 度	軽 度	合 計
令和元年	計	15	9	10	34
	%	44.1	26.5	29.4	100.0
令和2年	計	15	8	11	34
	%	44.1	23.5	32.4	100.0
令和3年	計	17	6	9	32
	%	53.1	18.8	28.1	100.0
令和4年	計	14	7	9	30
	%	46.7	23.3	30	100.0
令和5年	計	12	5	14	31
	%	38.7	16.1	45.2	100.0

(5) 自閉症（自閉的傾向を含む）

資料 5

（毎年4月1日現在）単位：人

	自 閉 症			自 閉 症 以 外			総 数
	総数	男	女	総数	男	女	
令和元年度	11	5	6	23	14	9	34
(%)	32.3	14.7	17.6	67.7	41.2	26.5	100.0
令和2年度	10	4	6	24	14	10	34
(%)	29.4	11.8	17.6	70.6	41.2	29.4	100.0
令和3年度	11	5	6	21	14	7	32
(%)	34.4	15.6	18.8	65.6	43.7	21.9	100.0
令和4年度	12	7	5	18	12	6	30
(%)	40.0	23.3	16.7	60.0	40.0	20.0	100.0
令和5年度	14	9	5	17	8	9	31
(%)	45.2	29.0	16.2	54.8	25.8	29.0	100.0

(6) 介助の程度別

資料 6

(毎年4月1日現在)単位:人

区 分		男		女		合 計	
		(人)	構成比	(人)	構成比	(人)	構成比
食 事	全介助	0	0	0	0	0	0
	一部介助	9	53	8	57.1	17	54.8
	自立	8	47	6	42.9	14	45.2
排 泄	全介助	0	0	1	7.1	1	3.2
	一部介助	11	64.7	3	21.4	14	45.2
	自立	6	35.3	10	71.5	16	51.6
着 脱	全介助	0	0	0	0	0	0
	一部介助	8	47	1	7.1	9	29
	自立	9	53	13	92.9	22	71
洗 面	全介助	2	11.8	1	7.1	3	9.7
	一部介助	11	64.7	0	0	11	35.5
	自立	4	23.5	13	92.9	17	54.8
歯磨き	全介助	0	0	0	0	0	0
	一部介助	11	64.7	1	7.1	12	38.7
	自立	6	35.5	13	92.9	19	61.3
入 浴	全介助	0	0	1	7.1	1	3.2
	一部介助	12	70.6	6	42.9	18	58.1
	自立	5	29.4	7	50	12	38.7
生 理	全介助	-	-	0	0	0	0
	一部介助	-	-	5	35.7	5	35.7
	自立	-	-	0	0	0	0
	無	-	-	9	64.3	9	64.3

(7) 就 学

資料 7
(毎年4月1日現在) 単位：人

学 年	小 学 部							中 学 部				高 等 部				小 計	昼 未 間 就 計 学	合 計	
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	計				
	計																		
平成 30 年	男		2	1	1	1		5	1	1	3	5	4	3	2	9	19		19
	女		2		1	1		4	2		1	3	2	4	2	8	15		15
	計		4	1	2	2		9	3	1	4	8	6	7	4	17	34		34
令和 元 年	男			2	1	1	1	5	1	1	1	3	3	4	3	10	18		18
	女	1		2		1	1	5		2	1	3	1	2	4	7	15	1	16
	計	1		4	1	2	2	10	1	3	2	6	4	6	7	17	33	1	34
令和 2 年	男	1			2	1	2	6	2	1	1	4	1	3	4	8	18	1	19
	女	1	1		2		1	5	1		2	3	1	1	3	4	13		13
	計	2	1		4	1	3	11	3	1	3	7	2	4	7	13	31	1	32
令和 3 年	男	2	2			3	2	9	2	1	1	4	1	1	3	5	18	1	19
	女		1	1		2		4	1	1		2	2	1	1	4	10	1	11
	計	2	3	1		5	2	13	3	2	1	6	3	2	4	9	28	2	30
令和 4 年	男	1	2	2			3	8	2	2	1	5	1	1	1	3	16	1	17
	女		1	2	1		2	6	1	2	1	4		2	1	3	13	1	14
	計	1	3	4	1	5	5	14	3	3	2	9	1	3	2	6		2	31